

読む・書く・考える
伝える力を身につける

2021

サマー・スクール



小学2年生

受講料・6,600円 全6日間 (本本校と神栖校で講習日が異なります)

本本校	前期	7月28・29・30日	後期	8月18・19・20日
神栖校	前期	8月4・5・6日	後期	8月25・26・27日

時間割	12:30 ~ 13:00	13:05 ~ 13:35
	(国語)「のはらうた」を読む	(算数)九九の学習

※国語と算数の順番は入れかわることがあります。

申込について

在籍生は サマー・スクールは2年生指導の一部となっており、原則として室生は全員参加となっていますので、受講申し込みの必要はありません。サマー・スクール受講料6,600円と教材費1,000円は7月27日に指定口座より引き落としされます。ただし、講習日程中どうしても出席できない日のある場合には、添付の欠席届にお書き込みの上、7月17日(土)までに各担任宛ご提出下さい。9月分の授業料から相殺して割り引きをいたします。ただし、前記日限を過ぎたものに関しては割引の対象となりませんのでご了承下さい。

新規生は 受講料と教材費を添えて各スクール窓口にて申込手続きをお済ませ下さい。教材の取り寄せには1週間程度日数がかかります。

サマー・スクールに必要な教材	童話屋版「のはらうた」I 1,650円 「夏期練成ゼミ」600円 国算プリント代 400円 ※「小学国語辞典」手持ちのものでかまいません。
----------------	--

ノーリツ学園

国語の学習のすすめ方

工藤直子「のはらうた」I から、2篇をとりあげて学習をすすめていきます。どちらの詩も、夏の太陽のもとをうごきまわる生き物が、生き生きと表現されています。2篇とも、どちらかというとなりの男の子が好きそうな、元気でたのしい詩です。

<授業のすすめ方>

第1授業 声をだして詩をよんでから、お手本をもとにして、詩をきれいに書写していきます。

第2授業 詩の中から、ことばのテーマをひとつとりあげて、テーマシートをしあげながら、いろいろなことばの表現を学んでいきます。

第3授業 読みとりシートを用いて、詩であつかった生き物体験を思いうかべたり、詩の内容についての読みとりをすすめていきます。

⑬ 1日目	「おれはかまきり」をよむ・うつす まず、先生といっしょに大きな声でよんで、なんだかくりかえしながら、「げんきだぜ」「ひかっているぜ」「がんばるぜ」「きまってるぜ」という、いどむようなことばから、かまきりの心のたかぶりをかんじっていきます。詩のイメージがつかめたら、全体のスペースをかんがえながら、ゆっくりとうつしていきます。
⑭ 2日目	「ことばシート」をしあげる 毎日の生活でよくもちいる「よびかけことば(感動詞)」をとりあげます。9つのよびかけことばをとりあげて、子どもたちが場を思いうかべながら、自分で会話文をつくっていきます。
⑮ 3日目	「おれはかまきり」をよみとる かまきりのすがたや、子どもたちのかまきり体験を思いおこしながら、読みとりシートをしあげていきます。詩の中のキーワードをみつけたり、国語辞典をつかったりして、上手に答えをまとめていきます。
⑯ 4日目	「さんぼ」をよむ・うつす まず、先生といっしょに大きな声でよんで、なんだかくりかえしながら、「ぶるぶる」「しゃかしゃか」「いそいそ」「ぴんぴん」というぎたいごから、ありんこのたのしげな気分をかんじっていきます。詩のイメージがつかめたら、全体のスペースをかんがえながら、ゆっくりとうつしていきます。
⑰ 5日目	「ことばシート」をしあげる 名前をあらわすことばや、動きをあらわすことばをふたつかさねてつくられた、「かさねことば(じょうご)」をとりあげます。もとの意味が、どんなふうへんかしてつかわれるようになったのかを学んでいきます。
⑱ 6日目	「さんぼ」をよみとる ありんこのすがたや、子どもたちのありんこ体験を思いおこしながら、読みとりシートをしあげていきます。詩の中のキーワードをみつけたり、国語辞典をつかったりして、上手に答えをまとめていきます。

算数の学習のすすめ方

4月から7月まで4ヶ月、九九の勉強をしてきました。1のდანから9のდანまでの、9つのდანの九九を勉強しました。8月の算数は、かけ算九九の復習と「たし算・ひき算・かけ算」を利用する文章問題にチャレンジしていきます。文章を良く読んで、何算をしなければならないのか整理しながら問題を解く力を身につけていきましょう。

夏休み中の宿題として、ノーリツで勉強してきた「かけ算九九マスター百ます編」と、「夏期練成ゼミ」を用意しています。宿題を通してかけ算九九の完成と、学校で一学期に学習した内容の定着を目指します。7月3日(土)の授業で配りますので、9月4日(土)授業で、先生に提出してください。

<授業のすすめ方>

- ① フラッシュカードを使って、声を出して読みながら九九の確認をします。
- ② シートを使って、文章問題を一緒に解いていきます。
- ③ 忘れないようにかかけ算九九の暗唱と、授業で配られた残りのシートを家庭で仕上げます。

●ゆびでやるかけ算●

ゆびをつかって、5よりおおきい数どうしのかけ算。これはフランスの、のうみんが考えだしたやり方です。これをやるためには、5までのかけ算ができないと、いけません。

まずりょう手をひらいて、てのひらをじぶんのほうにむけてください。

「8×6」でやってみましょう。

ゆびをおるまえに、かけあわせる2つの数から、それぞれ5をひきます。そして、のこりの数だけ、指を折ります。8のほうは、5をひいて3本、6のほうは、1本をおります。右手と左手、どちらが3でも1でもかまいません。

おれている指が十の位です。いま、3本と1本で、4本おれていますから、40になります。右手と左手にたっている指は、2本と4本です。これをかけあわせます。2かける4で、8になります。40と8をたして48。「8×6=48」と答えがでます。

答えはですが、「九九」をおぼえた方が、ずっと、らくだとおもいませんか？フランスやアメリカには、日本のような「九九」はありません。めんどうなやり方でも、ないよりはましだったのです。

⑬ 1日目	文章問題にチャレンジ①
⑭ 2日目	文章問題にチャレンジ②
⑮ 3日目	文章問題にチャレンジ③

⑯ 4日目	文章問題にチャレンジ④
⑰ 5日目	文章問題にチャレンジ⑤
⑱ 6日目	1けた×1けた 確認テスト